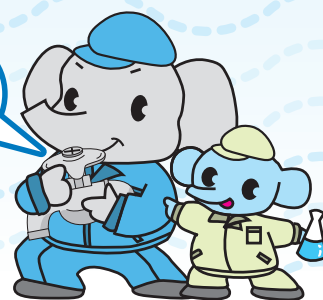


水道の泉

食欲の秋！
食べすぎには注意！



水道豆知識 vol.19 〈飲料水の備蓄編〉

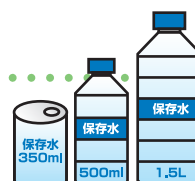
災害時に人は、数日間何も食べずに生きていけると言われていますが、水分だけは生命の維持に欠かせません。

災害に備え飲料水を備蓄しましょう。



備蓄する水はどんなものが多いの？

主に保存水と言われる加熱除菌やろ過した長期間保存できる水が最適です。保存期間は、最長で10年保存できるものがあります。

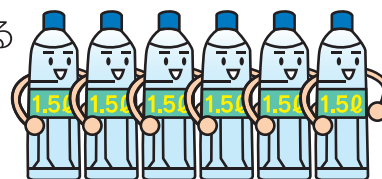


どれくらいの量を備蓄すればいいの？

人は1日2.5ℓ～3ℓの水分を排出し、同じ量の水が必要です。

また、災害発生後みなさんの元へ水を届けるには、約3日かかると言われています。よって、3日間過ごすのに1人当たり

3ℓ×3日=9ℓ以上が必要となります。



水道水は保存水にならないの？

水道水の保存は可能ですが、塩素が次第に減少するため約3日間しか保存できません。

※保存期間は、直射日光を避けるなどの保存状態により異なります。

よって、水道水は長期保存には、不向きです。

災害時は、給水タンクを設置いたしますが、交通手段の断絶や渋滞などによりお届けするまでに時間がかかると予想されます。万が一のために保存水の備蓄をお願いします。また、自治会単位でも保存水の備蓄をおすすめします。



便利な防災グッズの販売！



飲料水用給水袋(非常用)

- 容量：6ℓ
- 素材：ナイロン(50kgの力を加えても、破損・水漏れしません。)
- 機能：リュックにして背負え、取ってもあり持ち運びに便利です。ポリタンクなどとは違い、肌身離さず持っていられます。
- 販売価格：1袋350円(税込み)
- 販売：水道事務所、総務課(消防署3F)